

# 第 49 回未来医療セミナー

## 移植を前提とした細胞・組織培養設計

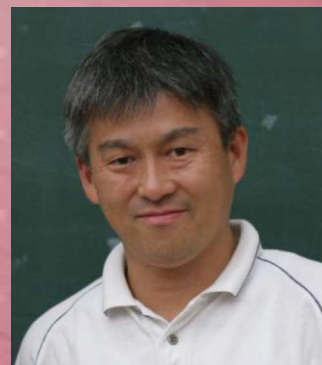
### —細胞・組織を育み評価する技術—

大阪大学大学院工学研究科生命先端工学専攻  
生物プロセスシステム工学領域 教授

紀ノ岡 正博

移植を前提とした細胞・組織培養は、製造の観点から重要な工程であり、最終製品である細胞や組織の質を安定して供給するために、安全性・薬効に対する工程・品質管理が不可欠である。多くの評価技術はこれまで、安全性に関する道具が構築されてきたが、その薬効に対するための技術開発は少ない。

本講では、培養工程管理から品質管理まで、軟骨細胞、筋芽細胞、間葉系幹細胞を対象に、細胞形態制御を可能とする培養面設計、培養操作の自動化、培養組織の立体的評価などの技術を広く紹介し、化学工学的貢献を議論する。



2009.10.26

18:00-19:00

大阪大学医学部附属病院外来棟 4F  
第1カンファレンス室

主催:大阪大学「未来医療交流会」

後援:文部科学省橋渡し研究支援推進プログラム

大阪大学「TR 実践のための戦略的高機能拠点整備」

連絡先:未来医療交流会(大阪大学医学部附属病院未来医療センター内)

Tel: 06-6879-6557, 6551, Fax:06-6879-6538

E-mail: koryukai@hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp

